

WEB 限定版

2002年冬モデル FMV-BIBLO LOOX S80Bのリカバリ手順

リカバリとは、パソコンをご購入時の状態に戻す作業のことです。

パソコンで発生した問題を解消できない場合や、コンピュータウイルスに感染しウイルス駆除ソフトウェアを導入しても駆除できない場合などは、リカバリを行って購入時の状態に戻し、正常に使用できるようにします。

リカバリの流れ

第1章
リカバリディスクとアプリケーションディスクの実行
約1時間50分



第2章
サービスアシスタントなどのインストール
約30分



第3章
セキュリティの設定とWindows Updateの適用
約2時間30分

目次

カスタムメイドモデルをお使いの場合は、構成により手順が異なる場合があります。

第1章 リカバリディスクとアプリケーションディスクの実行

- | | | |
|---|---|----|
| 1 | リカバリの事前準備をする | 3 |
| | • データをバックアップする | |
| | • 周辺機器を取り外す | |
| | • CDドライブの準備 | |
| | • リカバリに使用するディスクを確認する | |
| 2 | リカバリディスクを実行する | 4 |
| 3 | Windows をセットアップする | 7 |
| 4 | 外付け CD ドライブユニットのドライバをインストールする | 9 |
| 5 | 「アプリケーションのインストール」を表示する | 10 |
| 6 | FM かんたんインストールの「標準」ボタンでアプリケーションをインストールする | 10 |
| 7 | 「必ず実行してください」を実行する | 13 |
| 8 | FM かんたんインストールでその他のアプリケーションをインストールする | 15 |
| | • 蔵衛門デジブックのインストール | |
| | • OASYS ビューアのインストール | |
| | • Vision Connect のインストール | |
| 9 | デスクトップのショートカットアイコンを削除する | 18 |

第2章 Microsoft Office やサービスアシスタントなどのインストール

- | | | |
|---|--------------------------------|----|
| 1 | 富士通サービスアシスタントをインストールする | 19 |
| 2 | プロアトラス W for FUJITSU をインストールする | 20 |
| 3 | 画面の設定を購入時の状態に戻す | 22 |

第3章 セキュリティの設定と Windows Update の適用

- | | | |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | Windows 標準のファイアウォール機能を有効にする | 24 |
| 2 | Windows Update を実行する | 25 |

第1章

リカバリディスクとアプリケーションディスクの実行

1 リカバリの事前準備をする

リカバリを行う前に、いくつかの準備が必要です。
次の項目の内容を順に確認してください。

■ データをバックアップする

リカバリを実行すると、パソコンに保管してあるデータや、インターネットに接続する設定などは消去されます。このため、パソコンの起動が可能な場合は、リカバリを始める前に、保管したいデータをバックアップ(保存)します。パスワードなど、データのままでコピーを取れない情報は、メモを取るなどの方法で記録します。

■ 周辺機器を取り外す

プリンタ、デジタルカメラ、PC カード、増設メモリなどの周辺機器は、取り外した状態でリカバリを行います。また、LAN ケーブルや、モデムに接続されている電話線など、ケーブル類もすべて取り外します。周辺機器などが接続されたままの状態で行うと、リカバリが正常に行われられない可能性があります。

■ CD ドライブの準備

FMV-BIBLO LOOX S シリーズには CD ドライブが標準搭載されていないため、次の外付け CD ドライブユニットを別途ご用意ください。

- FMV-NRW52S(CD-R/RW ドライブユニット)
- FMV-NCB52(DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット)

2006 年 4 月現在で入手可能な外付け CD ドライブユニットは、FMV-NCB52 のみです。
ご購入の詳細については、次の富士通 WEBMART ホームページを開いて、「周辺機器」「富士通純正オプション」-「補助記憶装置」欄の「外付け CD/CD-RW/DVD」の順にクリックしてご覧ください。

<http://www.fujitsu-webmart.com/jp/webmart/>

■ リカバリに使用するディスクを確認する

リカバリを行うには、パソコンに付属されている次のディスクが必要です。
リカバリを行う前に、次のディスクが揃っているかどうかを確認します。

- リカバリディスク 1 ~ リカバリディスク 3 : 3 枚
- アプリケーションディスク 1 ~ アプリケーションディスク 2 : 2 枚
- 富士通サービスアシスタント CD : 1 枚
- プロアトラス W for FUJITSU Disk1 : 1 枚

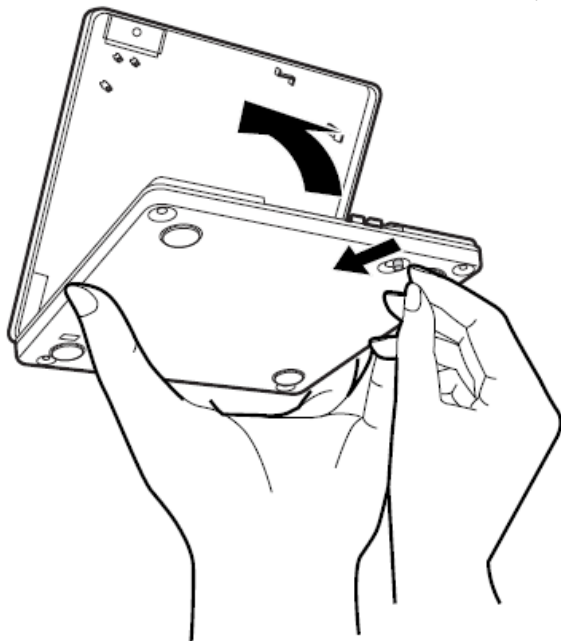
2 リカバリディスクを実行する

「リカバリディスク 1」、「リカバリディスク 2」、「リカバリディスク 3」を用意します。
次の手順でリカバリディスクを実行します。

1. 外付け CD ドライブユニットをパソコンに接続します。
お使いの外付け CD ドライブユニットによって、手順が異なります。

- **FMV-NCB52 をお使いの場合**

パソコンの電源が切れた状態で、FMV-NCB52 をパソコン本体の USB コネクタに接続します。
FMV-NCB52 の裏側にある強制オープンレバー (白い突起) をスライドさせて、ふたを開きます。



- **FMV-NRW52S をお使いの場合**

パソコンの電源が切れた状態で、FMV-NRW52S をパソコン本体の USB コネクタに接続します。
FMV-NRW52S の、右側面にある POWER スイッチをスライドさせて電源を入れます。

2. 「リカバリディスク 1」をセットします。

重要

FMV-NCB52 に「リカバリディスク 1」をセットする場合は、必ずパソコンの電源が切れた状態で行います。パソコンの電源を入れてから、「リカバリディスク 1」をセットすると、正常に動作しない可能性があります。

3. キーボードの [F12] キーの位置を確認します。
4. パソコンの電源が入っているときは、電源を切ります。
5. パソコンの電源を入れます。

6. 電源を入れた直後のFUJITSUのロゴ画面で、画面の下にメッセージが表示されたら、[F12]キーをトントントンと何回か押します。

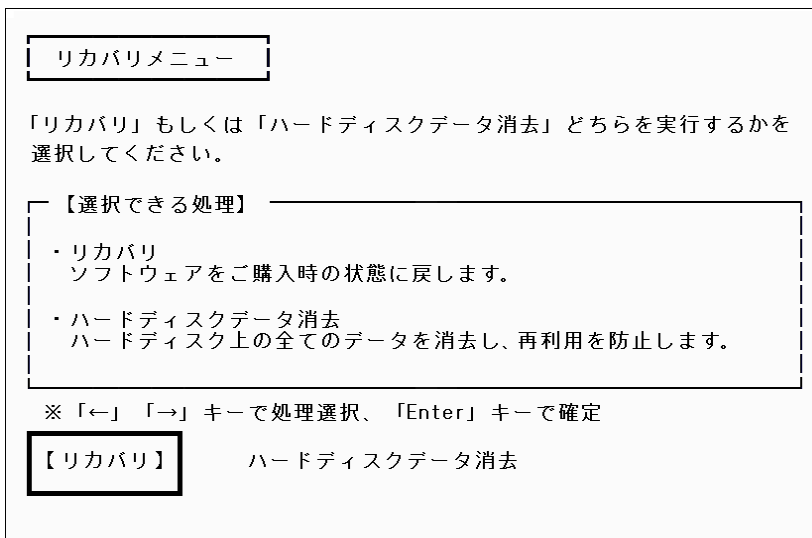


(画面は実際の色を反転させています)

アドバイス

- 画面が切り替わるまで何度か[F12]キーを押してください。
- メッセージが表示される時間が短いため、Windowsが通常通り起動することがあります。Windowsが起動した場合は、電源を切りもう一度手順3.から操作します。

7. 「起動メニュー」が表示されます。
「USB CD-ROM」を[]キーを押して選択し、[Enter]キーを押します。
8. 「リカバリディスク 1」が起動し、しばらくすると、「リカバリメニュー」が表示されます。
画面左下の、「リカバリ」が選択されていることを確認し、[Enter]キーを押します。



アドバイス

「リカバリ」が選択されていない場合は、[]キーを押して「リカバリ」を選択してから、[Enter]キーを押します。

9. 「処理を続行される前に、必ず以下をよくお読みください。」と表示されます。
「ソフトウェアの使用条件」をよく読み、同意する場合は、[Y]キーを押します。

FMV リカバリディスク	Version 3.00
<p>処理を続行される前に、必ず以下をよくお読みください。 [PageDown]キーを使ってページを移動できます。</p>	
<p>1. 概要</p> <p>「リカバリディスク」は、ハードディスクの内容を初期化し、ソフトウェアをご購入時の状態に復元します。マニュアルをよくお読みになってご使用ください。</p> <p>2. ソフトウェアのご使用条件について</p> <p>「リカバリディスク」には、本パソコンのご購入時にインストールされていたソフトウェアが入っています。これらのソフトウェアをご使用いただくにあたっては、</p> <p style="text-align: right;">(1/3)</p>	
<p>ソフトウェアの使用条件にご同意いただけますか？ ご同意いただけましたら、[Y]キーを押してください。</p>	
<p>同意する場合には[Y]キーを、同意しない場合には[N]キーを押してください。</p>	
<p>次頁:[PageDown] 同意する:[Y] 同意しない:[N]</p>	

10. 「メインメニュー」が表示されます。
「ご購入時の状態に戻す(推奨)」が反転表示されていることを確認し、[Enter]キーを押します。

FMV リカバリディスク	Version 3.00
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ご購入時の状態に戻す(推奨)</div> <p>領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す</p> <p style="text-align: center;">終了する</p>	
<p>Cドライブをフォーマットしてから、ご購入時の状態に戻します。通常はこちらを選択してください。 Cドライブのデータはすべて失われるため、必要なデータはバックアップしてください。 Dドライブのデータはそのまま残ります。</p>	
<p>[↓]/[↑]キーを押して項目を選びます。実行する場合は[Enter]キーを押します。</p>	
<p>次項目:[↓] 前項目:[↑] 実行:[Enter]</p>	

11. 「Cドライブのデータはすべて失われてしまいます。」と表示されます。
リカバリを実行するには、[Y]キーを押します。
12. FUJITSU のロゴと「復元しています...」が表示され、「リカバリディスク 1」のコピーが開始されます。
コピーが完了するまで、しばらく待ちます。
13. 「2枚目のメディアをドライブ Y:に入れてください。準備はいいですか?(Y/N)」と表示されます。
「リカバリディスク 1」を取り出し、「リカバリディスク 2」をセットしてから、[Y]キーを押します。
14. 「リカバリディスク 2」のコピーが開始されます。
コピーが完了するまで、しばらく待ちます。
15. 「3枚目のメディアをドライブ Y:に入れてください。準備はいいですか?(Y/N)」と表示されます。
「リカバリディスク 2」を取り出し、「リカバリディスク 3」をセットしてから、[Y]キーを押します。
16. 「リカバリディスク 3」のコピーが開始されます。コピーが完了するまで、しばらく待ちます。
17. 「復元作業が正常に終了しました。」と表示されます。
「リカバリディスク 3」を取り出します。
18. 接続している CD ドライブユニット(FMV-NCB52、または FMV-NRW52S)を取り外します。
19. [Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[Delete]キーを押します。パソコンが再起動します。

以上で、「リカバリディスクを実行する」は完了です。
続いて、「Windows をセットアップする」へ進みます。

3 Windows をセットアップする

次の手順で Windows をセットアップします。

1. パソコンが再起動した後で、「Microsoft Windows へようこそ」と表示されます。画面右下の「」ボタンをクリックします。

アドバイス

「Microsoft Windows へようこそ」と表示されるまでに、画面が暗くなったりしますが、何も操作せずにお待ちください。



2. 「使用許諾契約」と表示されます。「使用許諾契約」をよく読み、同意する場合は、画面左下の「同意します」をクリックし、画面右下の「」ボタンをクリックします。
3. 「コンピュータに名前を付けてください」と表示されます。何も入力しないで、画面右下の「」ボタンをクリックします。
4. 次のいずれかのメッセージが表示されます。メッセージに合わせて操作します。
5. 「インターネット接続が選択されませんでした」と表示された場合画面右下の「」ボタンをクリックします。
6. 「インターネットに接続する方法を指定してください」と表示された場合画面右下の「」(省略) ボタンをクリックします。

アドバイス

「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」と表示された場合は、手順 5.へ進みます。

「管理者パスワードを設定してください」と表示された場合は、次の手順で操作します。

- 1). 「管理者パスワードを設定してください」では、何も入力しないで、画面右下の「」ボタンをクリックします。
- 2). 「このコンピュータをドメインに参加させますか？」と表示されます。「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」をクリックし、画面右下の「」ボタンをクリックします。

7. 「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」と表示されます。
「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックし、画面右下の「」ボタンをクリックします。

アドバイス

「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」と表示された場合は、「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックし、画面右下の「」ボタンをクリックします。

8. 「設定が完了しました」と表示されます。
画面右下の「」ボタンをクリックします。



パソコンが再起動します。

以上で、「Windows をセットアップする」は完了です。
続いて、「外付け CD ドライブユニットのドライバをインストールする」へ進みます。

4 外付け CD ドライブユニットのドライバをインストールする

次の手順で、外付け CD ドライブユニットのドライバをインストールします。

1. 外付け CD ドライブユニット (FMV-NCB52、または FMV-NRW52S) をパソコン本体の USB コネクタに接続します。
2. お使いの外付け CD ドライブユニットによって、手順が異なります。

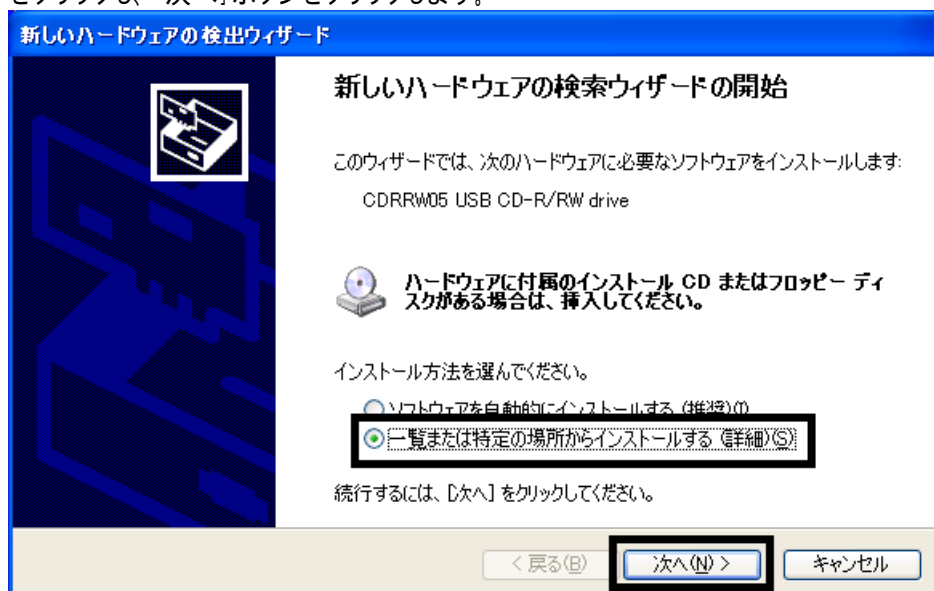
- **FMV-NCB52 をお使いの場合**

ドライバは自動でインストールされるため、インストールの作業は必要ありません。
10 ページの「アプリケーションのインストール」を表示するへ進みます。

- **FMV-NRW52S をお使いの場合**

ドライバを手動でインストールする必要があります。
9 ページの手順 3.へ進み、ドライバをインストールします。

3. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されたら、「一覧または特定の場所からインストールする」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。



4. 「検索とインストールのオプションを選んでください。」と表示されます。「次の場所を含める」をクリックし、チェックを付けます。
5. 「参照」ボタンをクリックします。
6. 「フォルダの参照」が表示されます。「ローカルディスク (C:)」、「fjuty」フォルダ 「fmvnrw52s」フォルダの順にクリックします。
7. 「OK」ボタンをクリックします。
8. 入力欄に、手順 6.で選択したフォルダが表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。

アドバイス

「ハードウェアのインストール」と表示された場合は、「続行」ボタンをクリックします。

9. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されます。「完了」ボタンをクリックします。
10. 「システム設定の変更」と表示されます。「はい」ボタンをクリックします。
パソコンが再起動します。

以上で、「外付け CD ドライブユニットのドライバをインストールする」は完了です。
続いて、「アプリケーションのインストール」を表示するへ進みます。

5 「アプリケーションのインストール」を表示する

次の手順で、「アプリケーションのインストール」を表示します。

1. 「マイコンピュータ」 「ローカルディスク (C:)」の順にクリックします。
2. 「ローカルディスク (C:)」に、「ファイルは表示されていません」と表示されます。
「このフォルダの内容を表示する」をクリックします。
3. 「fjuty」フォルダ 「RECVW」フォルダの順にクリックします。
4. CD の形をした、「recvw」（または「recvw.exe」）をクリックします。



5. 「「アプリケーションディスク 1」をセットして[実行]ボタンを押してください。」と表示されます。
外付けCDドライブユニット (FMV-NCB52、またはFMV-NRW52S) に「アプリケーションディスク 1」をセットします。

アドバイス

「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

以上で、「アプリケーションのインストール」を表示する」は完了です。

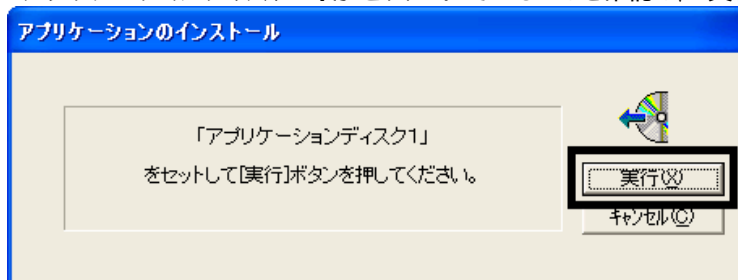
続いて、「FM かんたんインストールの「標準」ボタンでアプリケーションをインストールする」へ進みます。

6 FM かんたんインストールの「標準」ボタンでアプリケーションをインストールする

「アプリケーションディスク 1」～「アプリケーションディスク 2」を用意します。

次の手順で、アプリケーションを FM かんたんインストールの「標準」ボタンでインストールします。

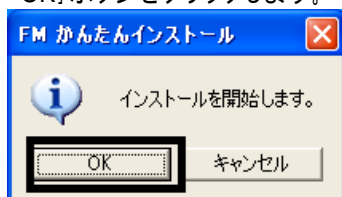
1. 「アプリケーションディスク 1」がセットされていることを確認し、「実行」ボタンをクリックします。



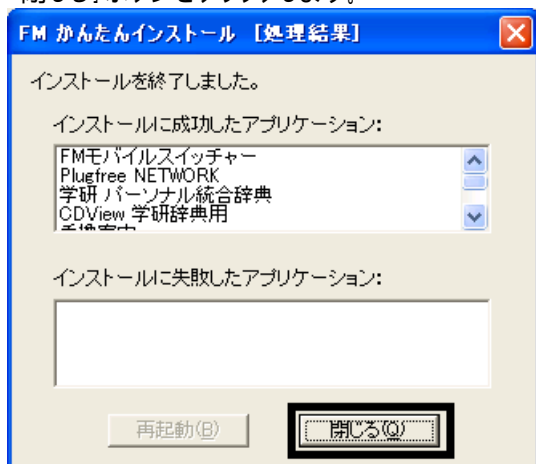
- 「FM かんたんインストール」が表示されます。
画面右上の「標準」ボタンをクリックし、アプリケーション名の左側に赤い三角形のマークが表示されたことを確認します。



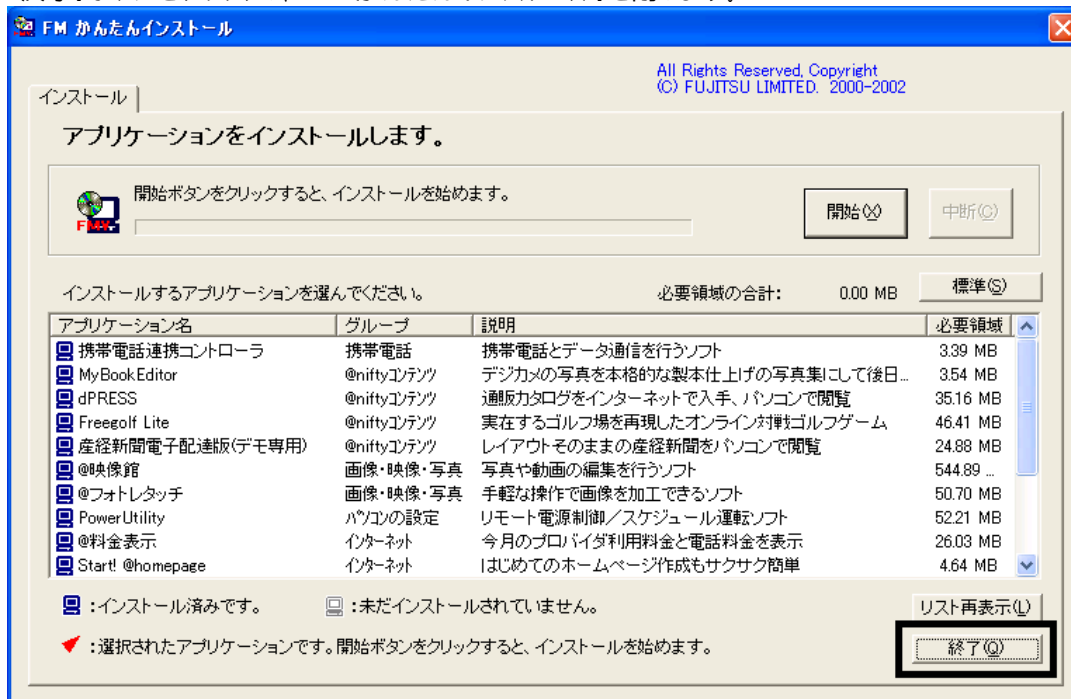
- 「標準」ボタンの左上にある、「開始」ボタンをクリックします。
- 「インストールを開始します。」と表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。



- インストールが開始されます。完了するまで、そのまましばらく待ちます。
- 「FM かんたんインストール [処理結果]」が表示されます。
「閉じる」ボタンをクリックします。



7. 「終了」ボタンをクリックし、「FM かんたんインストール」を閉じます。



8. 「「アプリケーションディスク 2」をセットして[実行]ボタンを押してください。」と表示されます。「アプリケーションディスク 1」を取り出し、「アプリケーションディスク 2」をセットしてから、「実行」ボタンをクリックします。

アドバイス

「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

- 「FM かんたんインストール」が表示されます。画面右上の「標準」ボタンをクリックし、アプリケーション名の左側に赤い三角形のマークが表示されたことを確認します。
- 「標準」ボタンの左上にある、「開始」ボタンをクリックします。
- 「インストールを開始します。」と表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- インストールが開始されます。完了するまで、そのまましばらく待ちます。
- 「FM かんたんインストール [処理結果]」が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックします。
- 「終了」ボタンをクリックし、「FM かんたんインストール」を閉じます。
- 「アプリケーションディスク 2」を取り出します。

以上で、「FM かんたんインストール」の「標準」ボタンでアプリケーションをインストールするは完了です。続いて、「必ず実行してください」を実行するへ進みます。

7 「必ず実行してください」を実行する

次の手順で「必ず実行してください」を実行します。

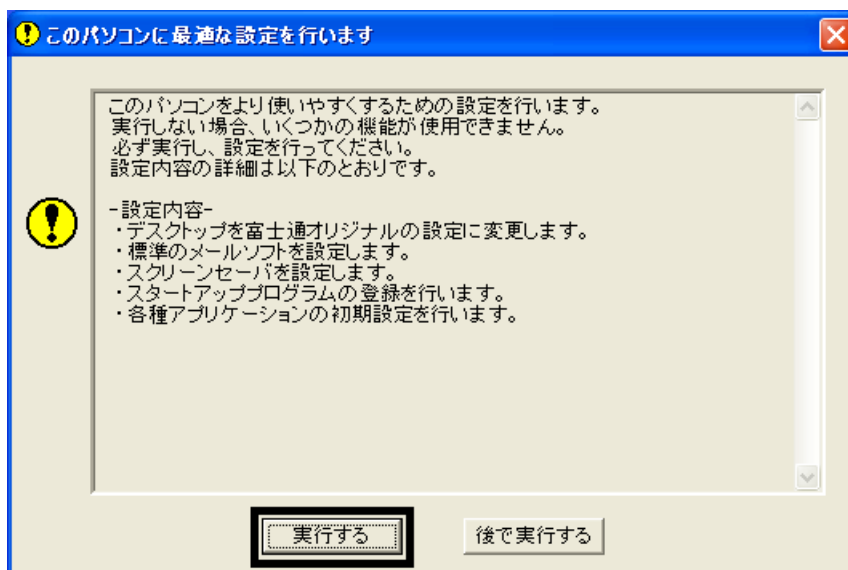
1. 「スタート」ボタン 「必ず実行してください」の順にクリックします。



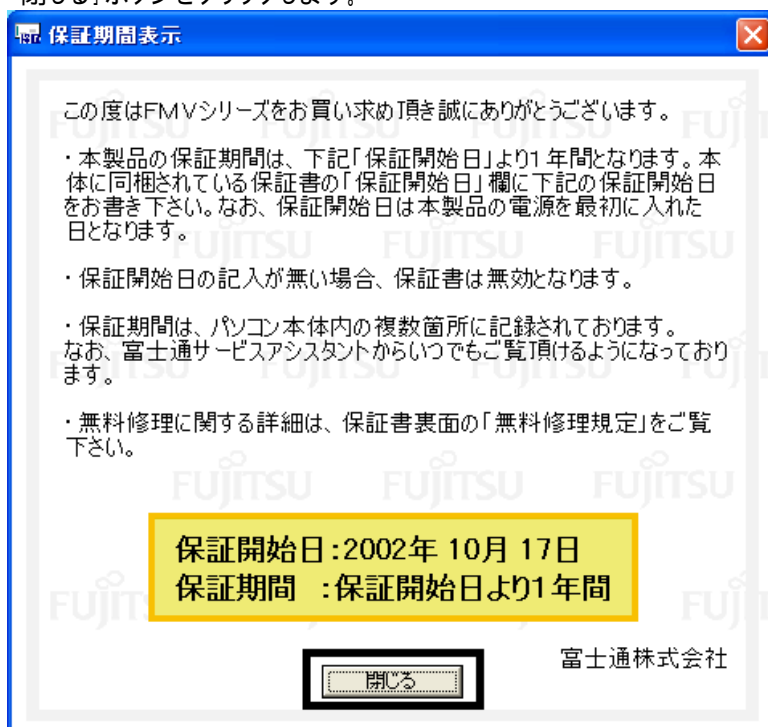
2. 「このパソコンに最適な設定を行います」と表示されます。「実行する」ボタンをクリックします。

重要

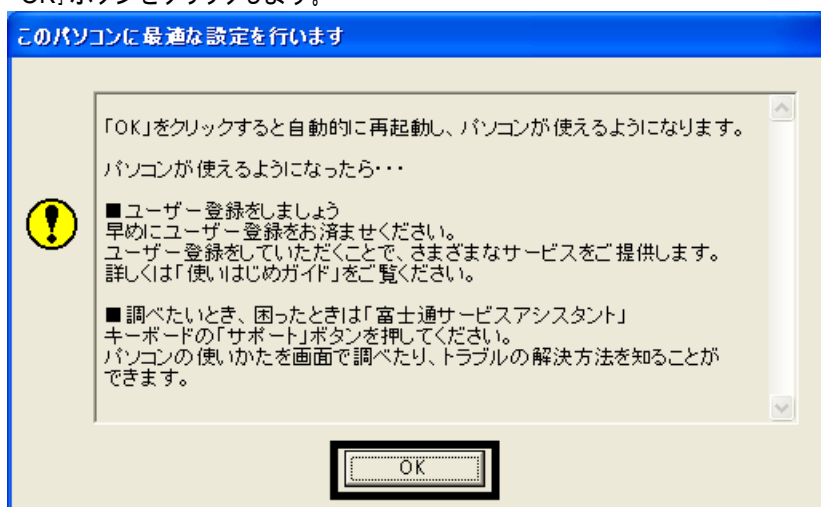
設定中はハードウェアを診断する画面やディスプレイを診断する画面が表示される場合があります。診断画面の表示中に「ハードウェア不良」の画面が表示された場合は、画面の指示にそって処理を行います。



3. 設定が開始され、「保証期間表示」が表示されます。
「閉じる」ボタンをクリックします。



4. 「保証開始日のない保証書は無効となります。」と表示されます。
「いいえ」ボタンをクリックします。
5. 「「OK」をクリックすると自動的に再起動し、パソコンが使えるようになります。」と表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。



パソコンが再起動します。

以上で、「必ず実行してください」を実行する」は完了です。
続いて、「FM かんたんインストールでその他のアプリケーションをインストールする」へ進みます。

8 FM かんたんインストールでその他のアプリケーションをインストールする

次の順にアプリケーションをインストールします。

- 蔵衛門デジブック
- OASYS ビューア
- Vision Connect

■ 蔵衛門デジブックのインストール

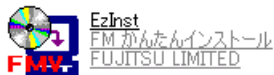
次の手順で、蔵衛門デジブックをインストールします。

1. 「アプリケーションディスク 1」をセットします。

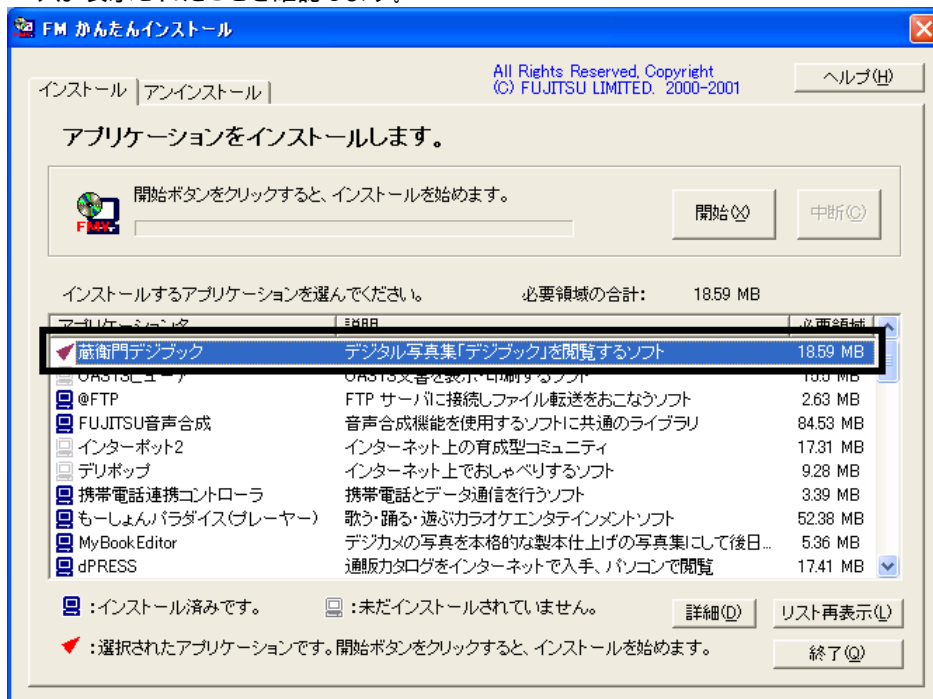
アドバイス

「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

2. 「マイコンピュータ」「FUJITSU (E:)」の順にクリックします。
3. 青いパソコンに赤い文字で FMV と描かれた、「EzInst」(または「EzInst.exe」) をクリックします。



4. 「FM かんたんインストール」が表示されます。
「アプリケーション名」の欄から、「蔵衛門デジブック」をクリックし、蔵衛門デジブックの左側に、赤い三角形のマークが表示されたことを確認します。



5. 「開始」ボタンをクリックします。
6. 「インストールを開始します。」と表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。
7. 「手動でインストールします。」と表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。
8. 「蔵衛門デジブック」のインストールが、完了するまで待ちます。
9. インストールが完了すると、「蔵衛門デジブック」が表示されます。
「×」ボタンをクリックし、すべての画面を閉じます。

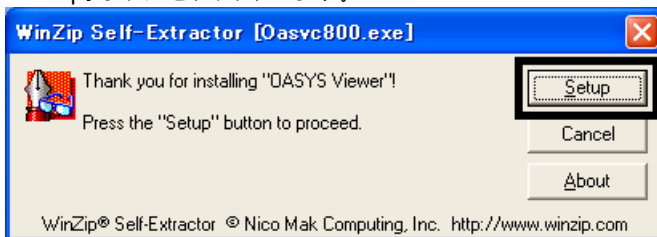
■ OASYS ビューアのインストール

次の手順で、OASYS ビューアをインストールします。

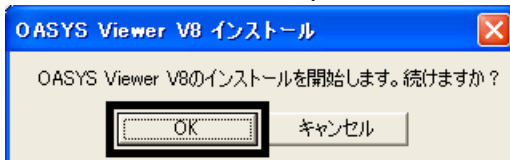
1. 「マイコンピュータ」 「FUJITSU(E:)」の順にクリックします。
2. 青いパソコンに赤い文字で FMV と描かれた、「EzInst」(または「EzInst.exe」)をクリックします。



3. 「FM かんたんインストール」が表示されます。
「アプリケーション名」の欄から、「OASYS ビューア」をクリックし、OASYS ビューアの左側に、赤い三角形のマークが表示されたことを確認します。
4. 「開始」ボタンをクリックします。
5. 「インストールを開始します。」と表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。
6. 「手動でインストールします。」と表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。
7. 「WinZip Self-Extractor [Oasvc800.exe]」が表示されます。
「Setup」ボタンをクリックします。



8. 「OASYS Viewer V8 インストール」が表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。



9. 「ようこそ」が表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。



10. 「使用許諾契約」と表示されます。
「使用許諾契約」をよく読み、同意する場合は、「はい」ボタンをクリックします。

11. 「インストール先の選択」と表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。
12. 「プログラム フォルダの選択」と表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。
13. 「ファイル コピーの開始」と表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。
14. 「OASYS ビューア」のインストールが、完了するまで待ちます。
15. 「セットアップの完了」と表示されます。
「完了」ボタンをクリックします。
16. 「WinZip Self-Extractor [Oasvc800.exe]」に戻ります。
「WinZip Self-Extractor [Oasvc800.exe]」が閉じるまで、しばらく待ちます。
17. 「×」ボタンをクリックし、すべての画面を閉じます。
18. 「アプリケーションディスク 1」を取り出します。

■ Vision Connect のインストール

次の手順で、Vision Connect をインストールします。

1. 「アプリケーションディスク 2」をセットします。

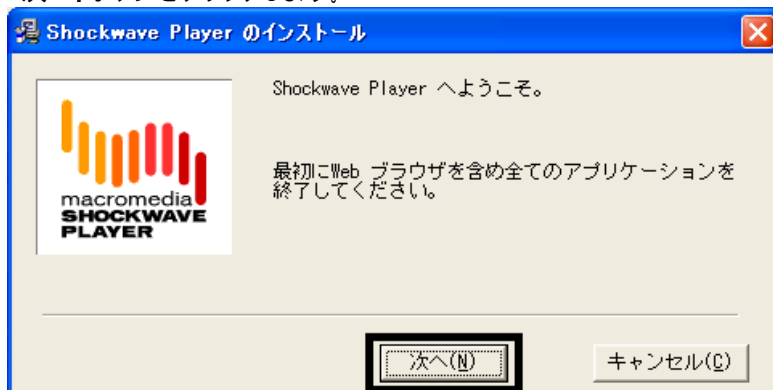
アドバイス

「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

2. 「マイコンピュータ」 「FUJITSU(E:)」の順にクリックします。
3. 青いパソコンに赤い文字で FMV と描かれた、「EzInst」(または「EzInst.exe」)をクリックします。



4. 「FM かんたんインストール」が表示されます。
「アプリケーション名」の欄から、「Vision Connect」をクリックし、Vision Connect の左側に、赤い三角形のマークが表示されたことを確認します。
5. 「開始」ボタンをクリックします。
6. 「インストールを開始します。」と表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。
7. 「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」と表示されます。
「自動」ボタンをクリックします。
8. Vision Connect のインストールが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。
9. 「Shockwave Player へようこそ。」と表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。



10. Shockwave Player のインストールが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。

11. 「おめでとうございます。」と表示されます。
「終了」ボタンをクリックします。
12. 「FM かんたんインストール [処理結果]」が表示されます。
「閉じる」ボタンをクリックします。
13. 「終了」ボタンをクリックし、「FM かんたんインストール」を閉じます。
14. 「×」ボタンをクリックし、すべての画面を閉じます。
15. 「アプリケーションディスク 2」を取り出します。

以上で、「FM かんたんインストールでその他のアプリケーションをインストールする」は完了です。
続いて、「デスクトップのショートカットアイコンを削除する」へ進みます。

9 デスクトップのショートカットアイコンを削除する

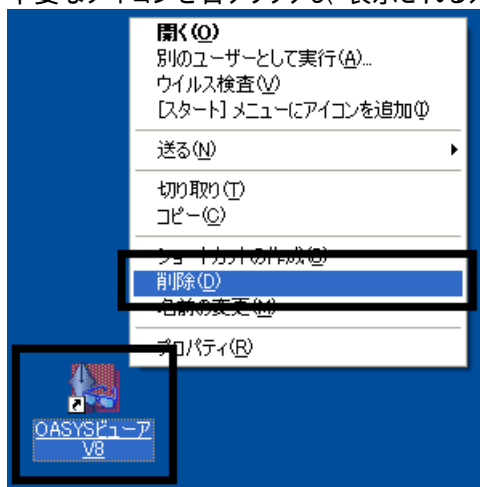
アプリケーションをインストールするとデスクトップに、簡単にアプリケーションの起動ができるようにショートカットアイコンが作成される場合があります。

次の手順で、デスクトップのショートカットアイコンを削除します。

アドバイス

- ご購入時の設定では、「マイコンピュータ」、「マイドキュメント」、「ごみ箱」のアイコンだけがデスクトップに表示されています。
- ショートカットアイコンの削除を行っても、アプリケーション自体が削除されることはありません。

1. 不要なアイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「削除」をクリックします。



2. 「ショートカットの削除の確認」が表示されます。
「ショートカットの削除」ボタンをクリックします。

アドバイス

ショートカットアイコンによっては、確認画面が表示されない場合があります。

3. デスクトップ画面に、削除したショートカットアイコンが表示されていないことを確認します。

アドバイス

デスクトップ画面に、「マイコンピュータ」、「マイドキュメント」、「ごみ箱」のアイコンだけが表示されるまで、手順1. ~3. を繰り返します。

以上で、「デスクトップのショートカットアイコンを削除する」は完了です。
引き続き、第2章をご覧ください。

第2章

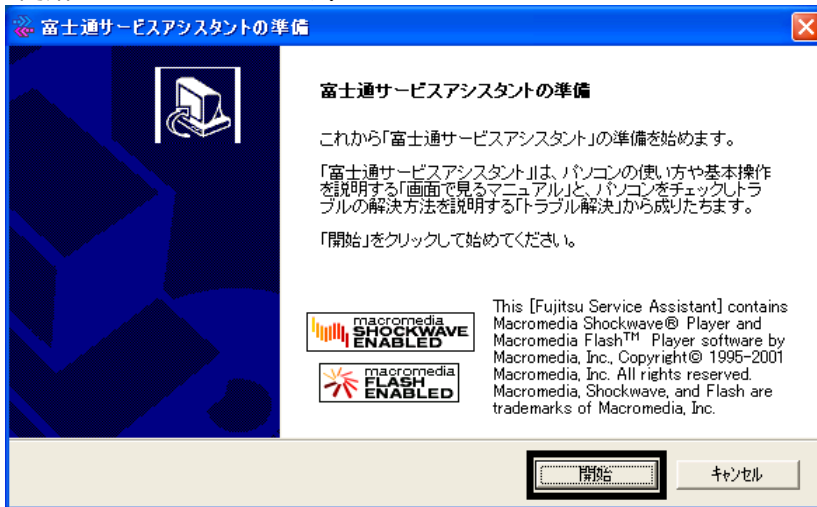
Microsoft Office やサービスアシスタントなどのインストール

1 富士通サービスアシスタントをインストールする

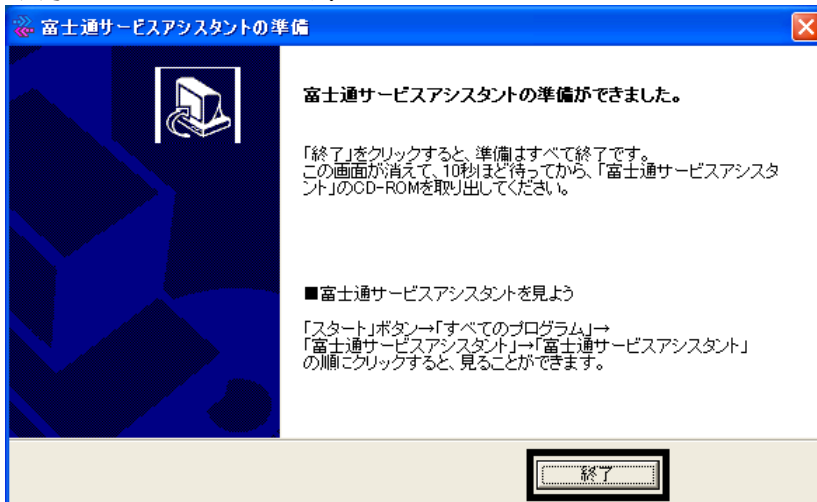
富士通サービスアシスタントは、パソコンの操作方法や、トラブルが発生したときの対処方法を調べるためのオンラインマニュアルです。

次の手順で、富士通サービスアシスタントをインストールします。

1. 「富士通サービスアシスタント CD」をセットします。
2. 「富士通サービスアシスタントの準備」と表示されます。
「開始」ボタンをクリックします。



3. インストールが終了するまで、しばらく待ちます。
4. 「富士通サービスアシスタントの準備ができました。」と表示されます。
「終了」ボタンをクリックします。



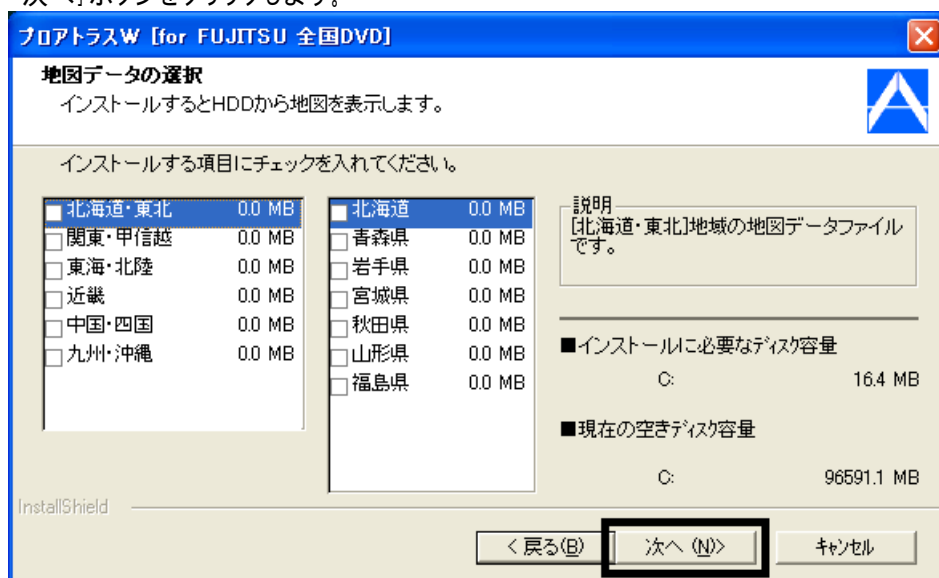
5. しばらくすると「富士通サービスアシスタントの準備」が閉じられます。
しばらく待ってから「富士通サービスアシスタント CD」を取り出します。

以上で、「富士通サービスアシスタントをインストールする」は完了です。
続いて、「プロアトラス W for FUJITSU をインストールする」の手順へ進みます。

2 プロアトラス W for FUJITSU をインストールする

プロアトラス W は地図をパソコンで表示するアプリケーションソフトです。
リカバリを実行後に、プロアトラス W を個別でインストールする必要があります。
次の手順で、プロアトラス W をインストールします。

1. 「プロアトラス W for FUJITSU」(または「プロアトラス W for FUJITSU Disk1」)と表記されているディスクをセットします。
2. 「プロアトラス W [for FUJITSU 全国 DVD(または 日本広域 CD)] 用のセットアップへようこそ」と表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。
3. 「使用許諾契約」と表示されます。「使用許諾契約」をよく読み、同意する場合は、「同意する」ボタンをクリックします。
4. 「インストール先の選択」と表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。
5. 「地図データインストール先の選択」と表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。
6. 「地図データの選択」と表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。



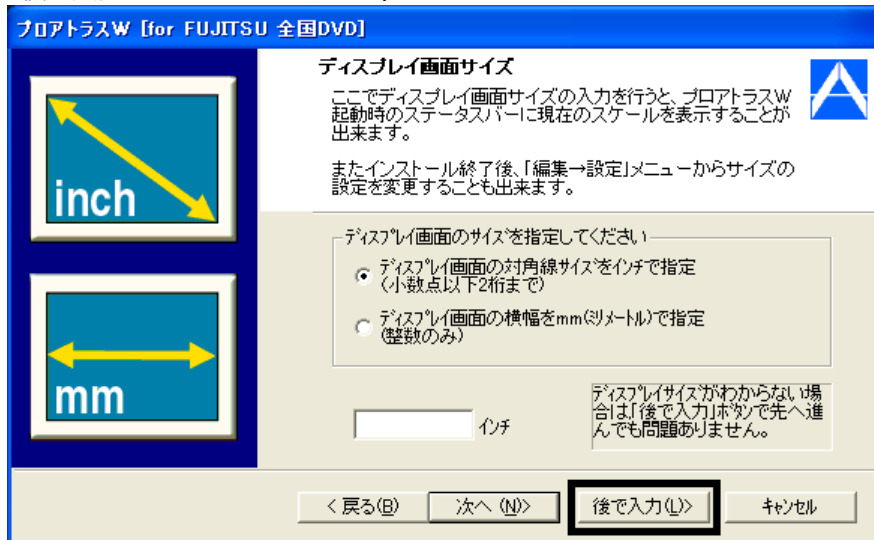
7. 「検索データインストール先の選択」と表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。

アドバイス

「全国ピンポイント住所検索データの選択」と表示された場合は、「次へ」ボタンをクリックします。

8. 「プログラムフォルダの選択」と表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。

9. 「ディスプレイ画面サイズ」と表示されます。
「後で入力」ボタンをクリックします。



10. 「ファイルコピーの開始」と表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。
11. インストールが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。

アドバイス

- 「クイックアドレス登録の推奨」が表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリックします。
- 「ユーザー登録のお願い」が表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリックします。

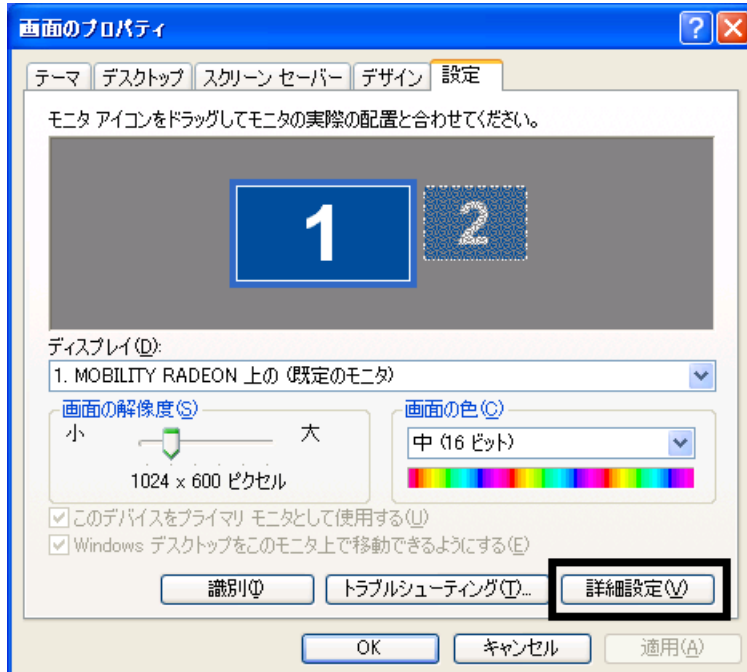
12. 「プロアトラス セットアップ完了」と表示されます。
「はい、直ちにヘルプファイルを参照します。」をクリックしてチェックを外し、「完了」ボタンをクリックします。
13. 「プロアトラス W for FUJITSU」(または「プロアトラス W for FUJITSU Disk1」)と表記されたディスクを取り出します。
14. デスクトップの「プロアトラス W」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「削除」をクリックします。
15. 「ショートカットの削除の確認」が表示されます。
「ショートカットの削除」ボタンをクリックします。
16. デスクトップに、「プロアトラス W」アイコンが表示されていないことを確認します。

以上で、「プロアトラス W for FUJITSU をインストールする」は完了です。
続いて、「画面の設定を購入時の状態に戻す」へ進みます。

3 画面の設定を購入時の状態に戻す


リカバリすると、休止状態にしようとするときに、休止状態になる途中で画面表示が一瞬乱れることがあります。次の手順で、画面の設定を変更します。

1. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。
2. 「画面のプロパティ」が表示されます。
「設定」タブをクリックします。
3. 「詳細設定」ボタンをクリックします。



4. 「(既定のモニタ)と MOBILITY RADEON のプロパティ」(または、「(既定のモニタ)と MOBILITY RADEON 7500 のプロパティ」)が表示されます。
「画面」タブをクリックします。
5. 「パネル」ボタンをクリックします。



6. 「パネルのプロパティ」が表示されます。
「パネルの属性」の「イメージをパネルサイズにする」の「」をクリックします。



7. 「OK」ボタンをクリックします。
8. 「(既定のモニタ)と MOBILITY RADEON のプロパティ」(または「(既定のモニタ)と MOBILITY RADEON 7500 のプロパティ」)に戻ります。
「OK」ボタンをクリックします。
9. 「画面のプロパティ」に戻ります。
「OK」ボタンをクリックします。

以上で、「画面の設定を購入時の状態に戻す」は完了です。
引き続き、第3章をご覧ください。

第3章

セキュリティの設定と Windows Update の適用

1 Windows 標準のファイアウォール機能を有効にする

リカバリ直後は、ご購入時の設定になります。

外部からの不正なアクセスを防ぐため、インターネット接続を行う前に、Windows 標準のファイアウォール機能の設定を有効にする必要があります。

重要

Windows 標準のファイアウォール機能の設定が完了するまでは、LAN ケーブルを取り付けるなど、インターネットへ接続するための設定や操作は行わないでください。

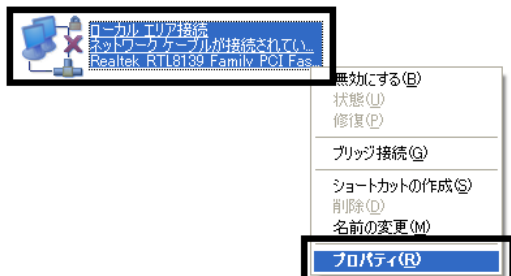
Windows 標準のファイアウォール機能を有効にする手順は、次のとおりです。

1. 「スタート」ボタン 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「コントロールパネル」が表示されます。
「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

アドバイス

「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、「ネットワーク接続」アイコンをクリックし、手順4へ進みます。

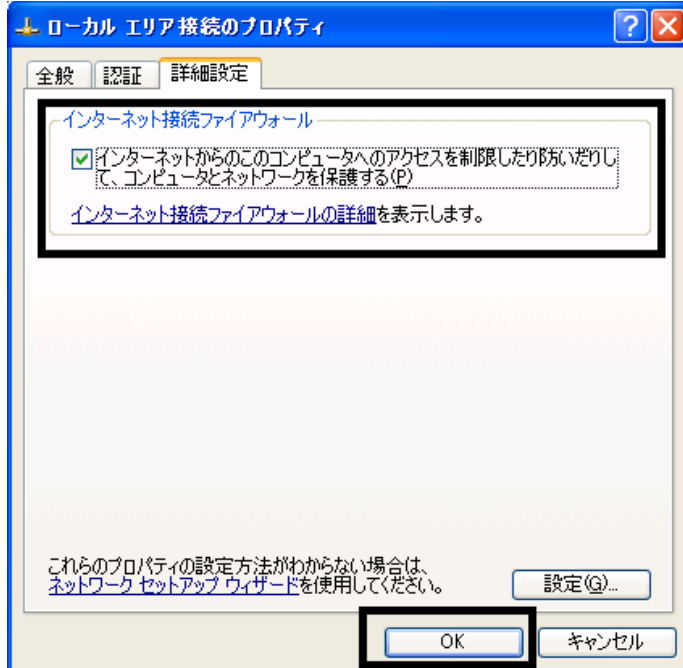
3. 「ネットワークとインターネット接続」が表示されます。
「ネットワーク接続」をクリックします。
4. 「ネットワーク接続」が表示されます。
ファイアウォールの設定を行う接続アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。



(「ローカルエリア接続」アイコンの例)

5. 「(接続アイコン名)のプロパティ」が表示されます。
「詳細設定」タブをクリックします。

6. 「インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する」をクリックしてチェックを付け、「OK」ボタンをクリックします。



7. 「×」ボタンをクリックし、すべての画面を閉じます。

以上で、「Windows 標準のファイアウォール機能を有効にする」は完了です。
続いて、「Windows Update を実行する」へ進みます。

2 Windows Update を実行する

Windows Update を実施することにより、Windows を最新の状態に更新します。
通常は、「高速インストール」での更新をお勧めします。

重要

- Windows Update は、インターネットを経由してアップデートを行います。
インターネットに接続した状態で実施してください。
- Windows Update の画面は一例です。
お使いの環境や Windows Update のバージョンにより異なる場合があります。
- Windows の省電力機能により、Windows Update 中に画面が真っ暗になることがあります。
省電力状態から復帰するには、次のように操作をします。
【DESKPOWER の場合】
マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを1回押します。
【BIBLO の場合】
フラットポイントに触れるか、【Shift】キーを押します。

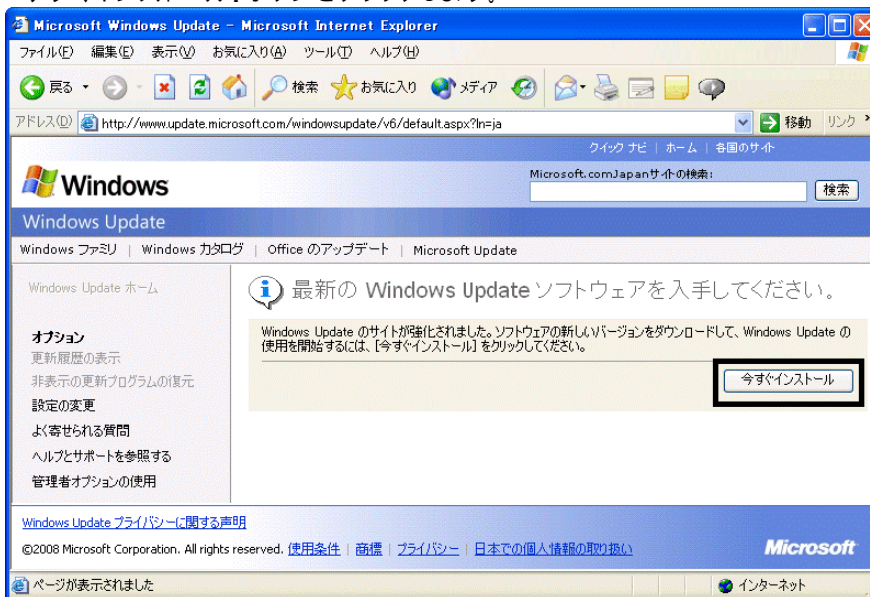
次の手順で、Windows Update を実行します。

1. 「スタート」ボタン 「すべてのプログラム」 「Windows Update」の順にクリックします。

- Internet Explorer が起動し、「セキュリティ警告」が表示されます。「Microsoft Windows Component Publisher からの内容を常に信頼」の をクリックし、チェックを付けます。



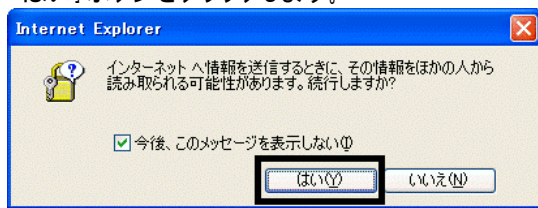
- 「はい」ボタンをクリックします。
- 「最新の Windows Update ソフトウェアを入手してください。」と表示されます。「今すぐインストール」ボタンをクリックします。



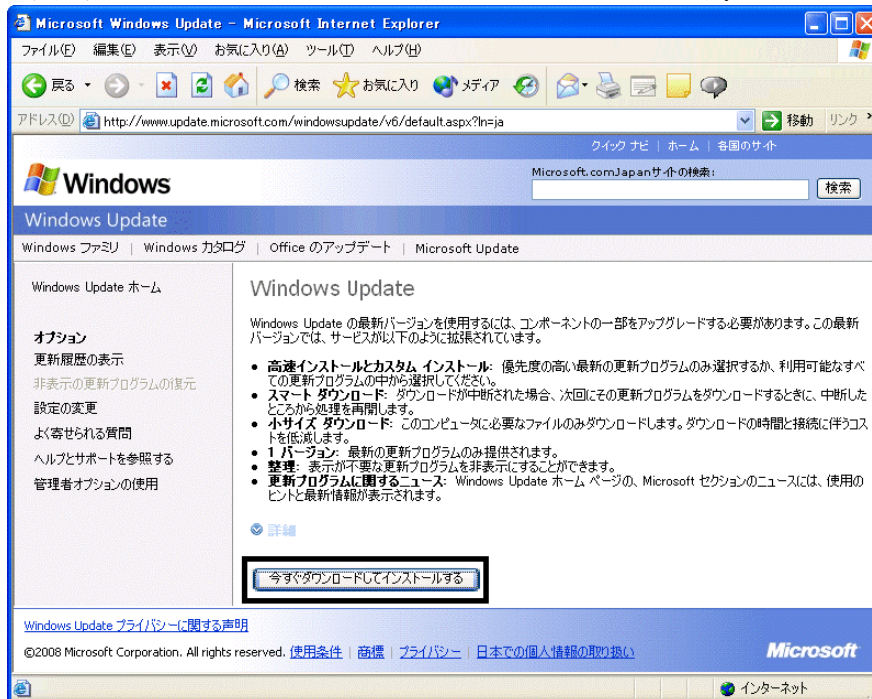
- しばらく待つと、「ようこそ Windows Update へ」と表示されます。「高速」ボタンをクリックします。



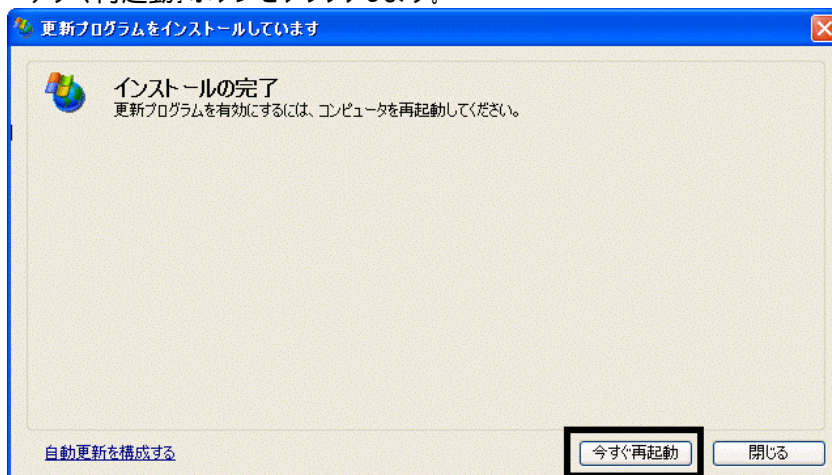
6. 「インターネットへ情報を送信するときに、その情報をほかの人から読み取られる可能性があります。続行しますか？」と表示されます。
「はい」ボタンをクリックします。



7. 「Windows Update」と表示されます。
「今すぐダウンロードしてインストールする」ボタンをクリックします。

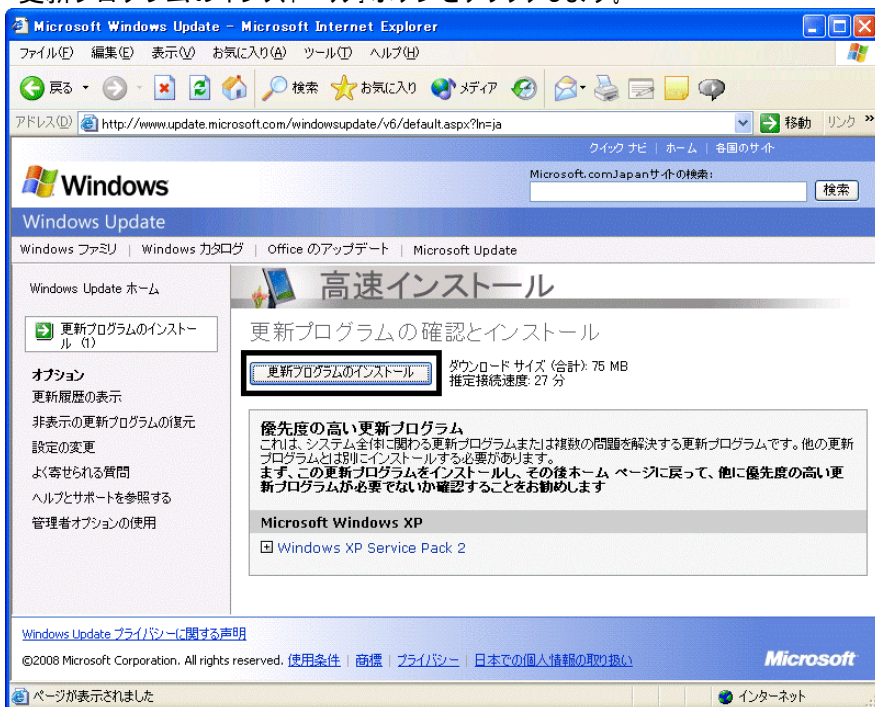


8. 「更新プログラムのダウンロードとインストール実行中です。」と表示されます。
ダウンロードとインストールが、完了するまで待ちます。
9. 「インストールの完了」と表示されます。
「今すぐ再起動」ボタンをクリックします。

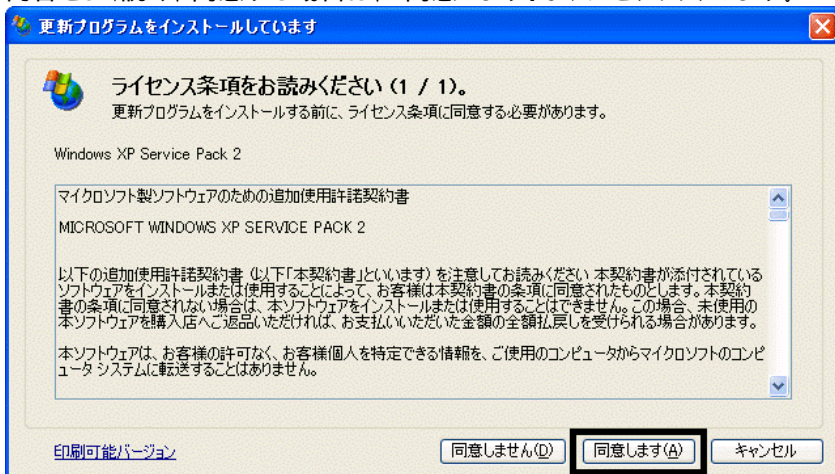


10. パソコンが再起動したら、「スタート」ボタン 「すべてのプログラム」 「Windows Update」の順にクリックします。
11. Internet Explorer が起動し、「Windows Update」のページが表示されます。
「高速」ボタンをクリックします。

12. 「更新プログラムの確認とインストール」と表示されます。
「更新プログラムのインストール」ボタンをクリックします。



13. 「ライセンス条項をお読みください(1/1)」と表示されます。
内容をよく読み、同意する場合は、「同意します」ボタンをクリックします。

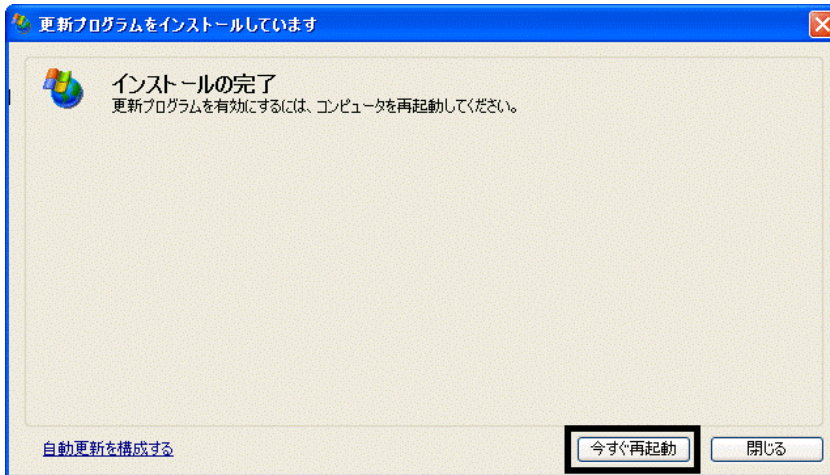


14. 「更新プログラムのダウンロードとインストールを実行中です。」と表示されます。
ダウンロードが完了するまで待ちます。

- 「Windows XP Service Pack 2 セットアップウィザードの開始」と表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。



- 「システムの更新中」と表示されます。インストールが完了するまで待ちます。
- 「インストールの完了」と表示されます。「今すぐ再起動」ボタンをクリックします。



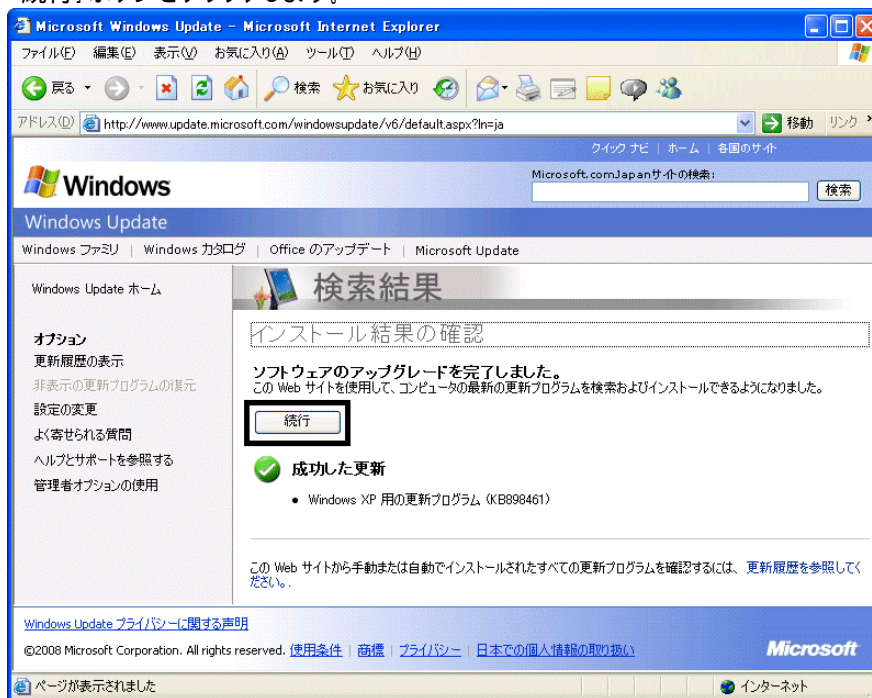
- パソコンが再起動し、「コンピュータを保護してください。」と表示されます。「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立ちます」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。



19. 「Windows セキュリティセンター」が表示されます。
「×」ボタンをクリックし、「Windows セキュリティセンター」を閉じます。

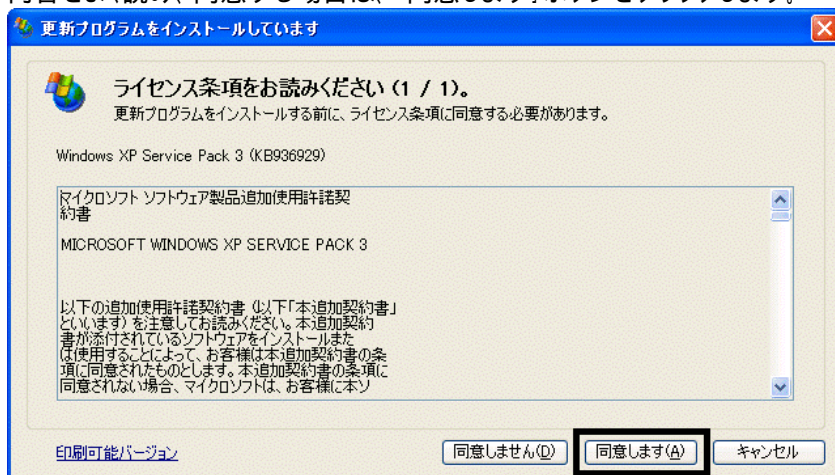


20. 「スタート」ボタン 「すべてのプログラム」 「Windows Update」の順にクリックします。
21. Internet Explorer が起動し、「Windows Update」のページが表示されます。
「高速」ボタンをクリックします。
22. 「Windows Update」と表示されます。
「今すぐダウンロードしてインストールする」ボタンをクリックします。
23. 「更新プログラムがインストールされています。」と表示されます。
インストールが完了するまで、そのまましばらく待ちます。
24. 「インストール完了」と表示されます。
「閉じる」ボタンをクリックします。
25. 「ソフトウェアのアップグレードを完了しました。」と表示されます。
「続行」ボタンをクリックします。

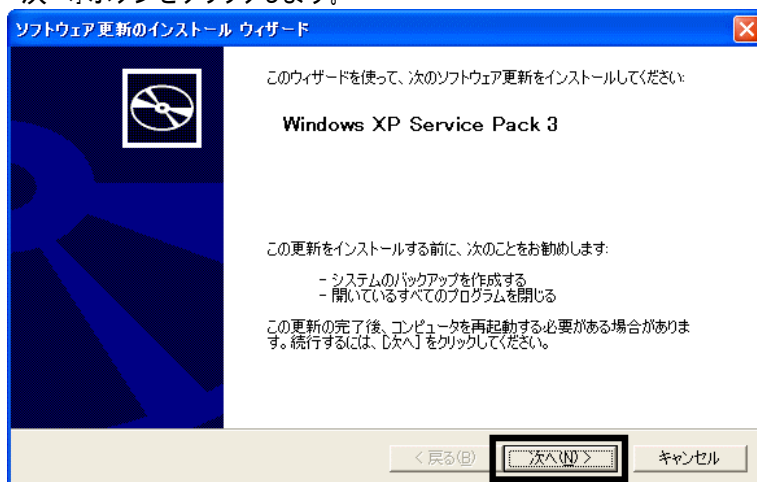


26. 「更新プログラムの確認とインストール」と表示されます。
「更新プログラムのインストール」ボタンをクリックします。

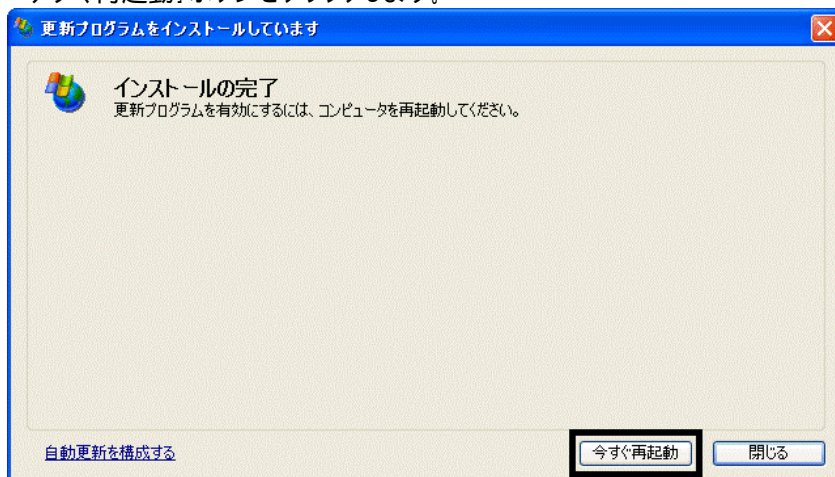
27. 「ライセンス条項をお読みください(1/1)。」と表示されます。
内容をよく読み、同意する場合は、「同意します」ボタンをクリックします。



28. 「更新プログラムのダウンロードとインストールを実行中です。」と表示されます。
ダウンロードが完了するまで、そのまましばらく待ちます。
29. 「ソフトウェア更新のインストールウィザード」と表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。

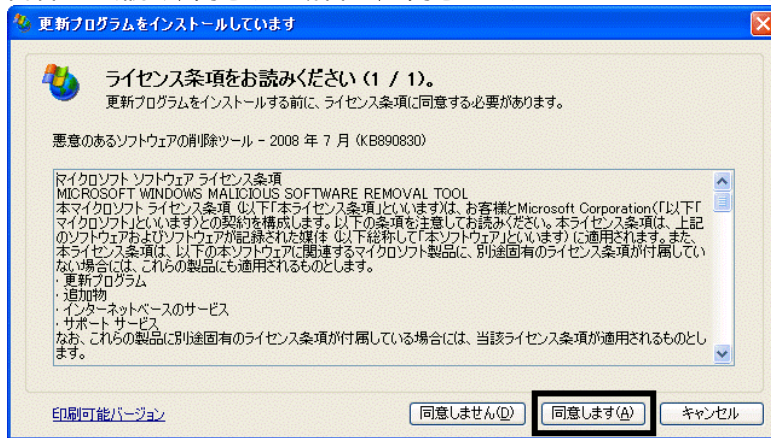


30. 「システムの更新中」と表示されます。
インストールが完了するまで、そのまましばらく待ちます。
31. 「インストールの完了」と表示されます。
「今すぐ再起動」ボタンをクリックします。

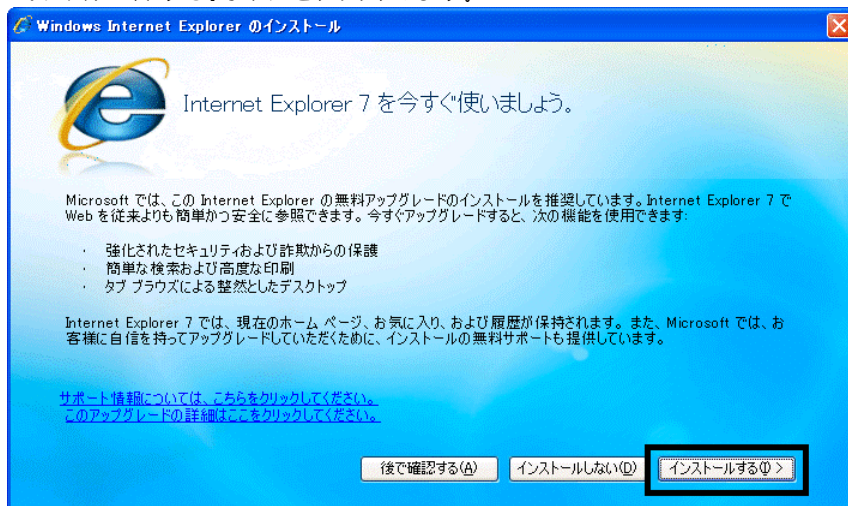


32. パソコンが起動したら、「スタート」ボタン 「すべてのプログラム」 「Windows Update」の順にクリックします。

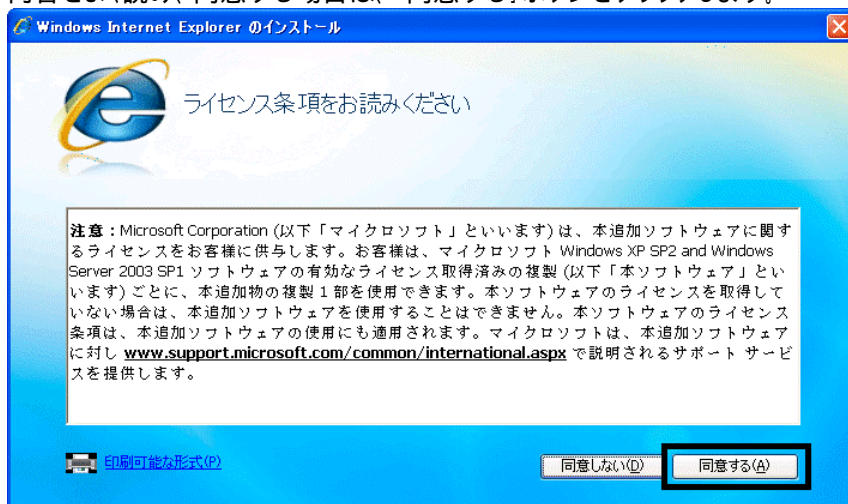
33. Internet Explorer が起動し、「Windows Update」のページが表示されます。「高速」ボタンをクリックします。
34. 「更新プログラムの確認とインストール」と表示されます。「更新プログラムのインストール」ボタンをクリックします。
35. 「ライセンス条項をお読みください(1/1)」と表示されます。内容をよく読み、同意する場合は、「同意します」ボタンをクリックします。



36. 「更新プログラムのダウンロードとインストールを実行中です。」と表示されます。ダウンロードが完了するまで、そのまましばらく待ちます。
37. 「Internet Explorer 7 を今すぐ使いましょう。」と表示されます。「インストールする」ボタンをクリックします。



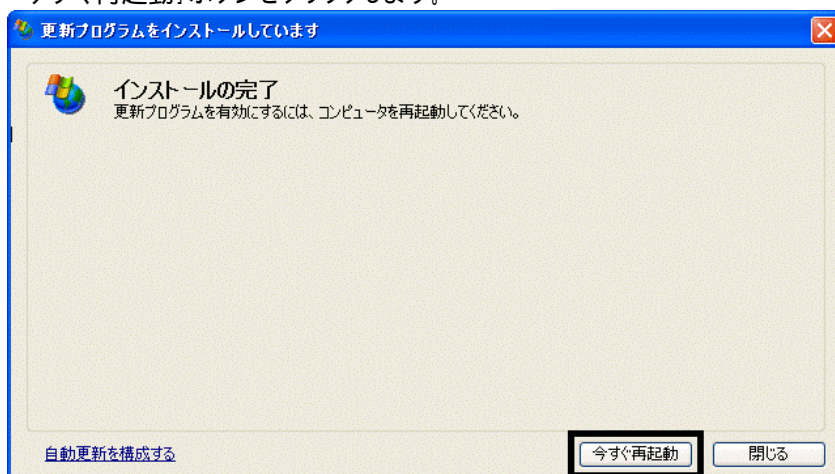
38. 「ライセンス条項をお読みください」と表示されます。内容をよく読み、同意する場合は、「同意する」ボタンをクリックします。



39. 「最新の更新を取得」と表示されます。
「Internet Explorer の最新の更新プログラムと Microsoft Windows 悪意のあるソフトウェアの削除ツールをインストールする (推奨)」にチェックが付いていることを確認します。
チェックが付いていない場合は、クリックしチェックを付けます。



40. 「次へ」ボタンをクリックします。
41. 「Windows Internet Explorer 7 をインストール中です...」と表示されます。
インストールが完了するまで、そのまましばらく待ちます。
42. 「インストールの完了」と表示されます。
「今すぐ再起動」ボタンをクリックします。



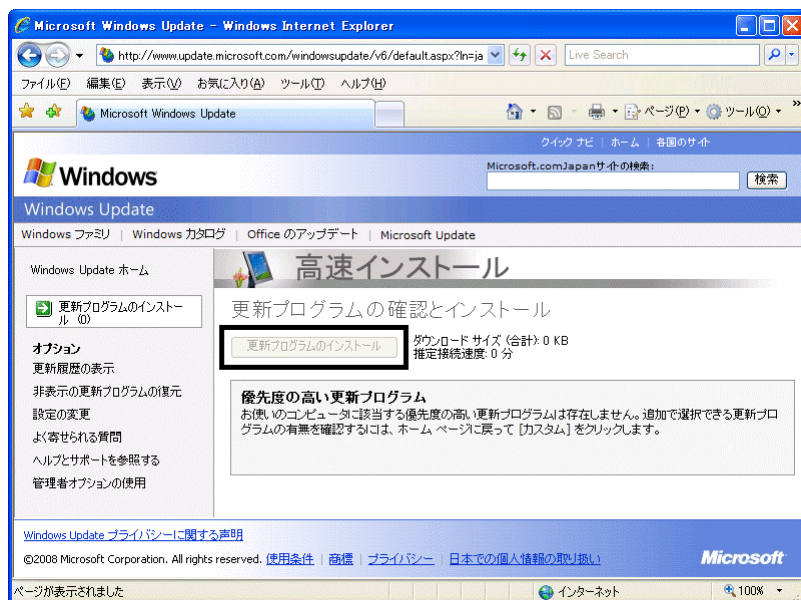
43. パソコンが再起動したら、「スタート」ボタン 「すべてのプログラム」 「Windows Update」の順にクリックします。
44. Internet Explorer が起動し、「Windows Update」が表示されます。
「高速」ボタンをクリックします。

45. 「更新プログラムの確認とインストール」と表示されます。
「更新プログラムのインストール」ボタンがグレーで表示され、クリックできないことを確認します。

アドバイス

「更新プログラムのインストール」ボタンをクリックできる場合は、「更新プログラムのインストール」ボタンをクリックし、画面に沿ってWindows Updateを実行します。

「更新プログラムのインストール」ボタンがグレーで表示され、クリックできなくなるまでWindows Update を実行してください。



46. 「×」ボタンをクリックし、Internet Explorer を終了します。

パソコンのリカバリ作業はすべて完了しました。

引き続き、パソコンをリカバリ前の状態に戻すには、次の作業が必要です。

- リカバリ前にバックアップを行ったデータの復元
- 周辺機器の再接続
- お使いのアプリケーションのインストール

アドバイス

リカバリ後に「Office XP Personal（例：WordやExcelなど）」を初めて起動した場合は、「ライセンス認証」の画面が表示されます。その場合は、認証の手続きをすることで、リカバリ前と同様に使用できます。

認証の手続きはインターネット経由と電話での手続きの二つの方法が用意されています。

詳細は、「Office XP Personal セットアップ ガイド 2-4 ライセンス認証を行う」をご覧ください。

- Windows XP Service Pack 2 と Windows XP Service Pack 3 を適用した後で、一部のドライバやソフトウェアに影響がでることが確認されています。
弊社「FMV 活用サイト AzbyClub ホームページ」内の、次のアドレスのページをご覧ください。

「Microsoft(R) Windows(R) XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」の適用について

<http://azby.fmworld.net/support/win/xp/sp2/index.html>

「Microsoft Windows XP Service Pack 3」の適用について

<http://azby.fmworld.net/support/win/xp/sp3/index.html>

本内容は予告なく変更することがございます。

- 以上 -